

カフェオープン！その準備会として
がん哲学外来府中メディカルカフェ 吉田 泉

3/14(土)に、第1回「がん哲学外来 府中メディカルカフェ」を開催する予定で準備していましたが、コロナウイルス感染拡大を受けて中止となりました。
しかしながら、安藤先生始め何人かの方々にお時間を作っていただいているので、次回への準備会として行う事にしました。
当日は、安藤先生に講演をいただいてから、数人で模擬カフェを行いました。模擬ながら実際にやることで、上手くいったこと、次への課題などが浮き彫りになり、カフェのイメージをはっきりさせることが出来、貴重な体験の場になりました。
次回は、9月5日(土)午後2時～4時です。「第1回府中メディカルカフェ」として開催出来る事を願ってやみません。
余談ですが、安藤先生の講話を聞きながら、現在放送中の朝ドラ「スカーレット」の稲垣吾郎さん演ずる血液内科医とダブって見えたのは私だけではなくたと思います！素敵な安藤先生です。

がん哲学外来
府中メディカルカフェ
～食べることは生きること、生きることは食べること～

日時：2020年3月14日(土)
午後2時～4時



- 午後1：30 受付開始
2：00 ごあいさつ、カフェについて、他
2：20 安藤先生による講演
「がん哲学外来とは？」
～質疑応答あり～
2：45 ・カフェ
・安藤先生との個人面談
(要予約 定員3名/お一人約15～20分)
3：45 振返り、アンケート
4：00 終了

会場：府中プラッツ6階第6会議室
京王線府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

お問合せ、申込み先：代表 吉田 泉
FAX：042-351-4895
メール：gantetsu_fuchu@yahoo.co.jp

○がん哲学外来とは

順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授が提唱する「医療の隙間を埋める」活動です。がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会の実現を目指し、より多くのがん患者さんが、垣根を越えた様々な方と対話することにより、「病気でなくても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添う場です。

○メディカルカフェ

がん患者様、ご家族、ご遺族、医療関係者どなたでも参加いただけます。ご自身の体験や、苦しみ、悩み、悲しみなど何でも自由に話してみください。お茶を飲みながら、ゆったりとした雰囲気の中で解決しなくても解消しよ〜という立場に来てくださった方に寄り添う場作りを目指しています。

○個人面談(無料)



あんどう きよし
安藤 潔 先生
東海大学医学部血液・腫瘍内科教授
東海大学総合医学研究所長
一般社団法人がん哲学外来理事

1983年 慶應大学医学部卒
1991年 米国立ハーバード大学医学部留学
1995年 東海大学医学部講師
2002年 東海大学医学部助教授
2005年 東海大学医学部教授(血液・腫瘍内科)

主な著書：「がん患者を支えるコーチングサポートの実践」
「難病患者を支えるコーチングサポートの実践」
「メディカルコーチングQ&A」

「がんと生きる」映画会のこと
103回ピースポート 牧野ゆき子(京都)

103回ピースポートクルーズ船内で映画「がんと生きる」ダイジェスト版を観ました。樋野先生の優しい語り口はあの時と変わっていない、そう思いました。かつて長島愛生園(2012/7/12 カフェ立ち上げ・2013/3/26 第6回カフェ)で、先生にお会いしてご講演を聴いたことを思い出したからです。
樋野先生の言葉の引き出しは、尽きることなく次から次へと紡ぎだされ、ひとつひとつの言葉(処方箋)が心に染みてきました。船内で映画を初めて観た人は、「がん哲学」とは何かをすぐには理解できなかったかもしれませんが、映像の中で、先生のがん患者さんに相対するときの誠実さと懸命さは感じてもらえたのではないかと思います。



★ 1回目は90人、2回目は50人ほどが参加しました。

全員集合！万座日進館 2020/3/14(土)～15(日)

樋野先生から「映画に出た人、ちょっとだけ映った人、全員集合というのも面白いね」。去年の秋も深まった頃でした。では、日進館で、先生のお誕生会も兼ねて。
ところが年明けて「コロナウイルス」のニュースが駆け巡り、キャンセルもありました。ですが、深い絆で結ばれた仲間達が30人以上も集まり、樋野先生の66歳のお誕生会を祝いました。そして翌日のシンポジウムは映画「がんと生きる」の続編を考えましょう！と司会者からの突然の課題、「ええっ」と言いながらも4人ずつ熱の入った話し合いがなされ、最後に8G全員で発表会。
新映画？「がんと生きる」、そのサブタイトルを決める…、皆さん。和気藹藹と楽しんでいました。



<編集後記>

松本カフェの斉藤さんから「ZOOMでカフェを！」のメールが来た。何、それ？分からない。私、やれない！
3月20日午前10時。10人ほどの参加でメッチャ愉快なカフェが開催され、何と私もそのひとりになっていた、スマホ(iPhone)を持っていたばかりに…。
スマホで自分の顔を映す、司会者に促されてしどろもどろにしゃべる。次々に画面に映し出される知った顔、知らない人、賑やかにワイワイがやがや、時が経つ。最後は駒ヶ根の元気印の方たちの笑い声で勇気を貰った。
3月20日。この日は駒ヶ根心晴カフェがスタートして映画会など盛沢山のイベント開催の日だった。コロナウイルスのせい、いやそのこともあって「ZOOMカフェ」が出来たのか。ZOOM、ズーム、う〜ん。分からん。